コースコード：RH-DO457
税込価格：264,000円 (税抜価格：240,000円)
日数：4日間

前提条件

TCP/IP、ルーター、管理対象スイッチの確実な理解を含む、ネットワーク管理の経験
コマンドラインからのネットワークデバイスの管理に精通していること (Cisco IOS、IOS XR、NX-OS、Juniper JUNOS、Arista EOS、VyOS の 1 つ以上が望ましい) テキストファイルを操作し、Red Hat Enterprise Linux 環境でコマンドを実行するために必要な、テキストファイルを編集してシェルからコマンドを実行する方法、SSH を使用してリモートシステムにログインする方法など、Linux
に関する実践的な知識 Red Hat System Administration I (RH124)
と同等またはそれを上回る知識を持っていることが強く推奨されます Ansible
に関する事前知識は必要ありません

受講対象者

このコースは、Ansible を使用して、組織や企業のネットワーク・インフラストラクチャの管理、デプロイメント、構成管理を自動化する方法を学ぶネットワーク管理者、ネットワーク自動化エンジニア、インフラストラクチャ自動化エンジニアを対象としています。

コース概要

Red Hat Ansible Automation for Networking
を使用したネットワーク・インフラストラクチャの構成と管理
本コース は、ネットワークの自動化を使用して、組織のネットワーク・インフラストラクチャ内のスイッチ、ルーター、およびその他のデバイスを一元管理する方法を学ぶネットワーク管理者、またはインフラストラクチャ自動化エンジニアを対象としています。

このコースは Red Hat® Ansible Engine 2.5 および Red Hat® Ansible Tower 3.2 に基づいています。

Red Hat Ansible Automation for Networking を使用して、リモートでネットワークデバイスの構成を自動化し、現在のネットワークの状態をテストおよび検証し、コンプライアンス・チェックを実行して構成のばらつきを検出および修正する方法を習得します。

目的

このコースは、Red Hat Ansible Automation for Networking を使用してネットワークの自動化ソリューションを実装するために必要なスキルの習得を目的としています。具体的には、デバイスの一貫した自動構成、構成と検出の検証、構成のばらつきの修復、自動化ソリューションの管理などを行えるようになります。このようなデプロイメントにより、ネットワークが拡張されデバイスの数が増えても、容易に管理し迅速に更新できるネットワーク・インフラストラクチャが提供されます。このネットワーク・インフラストラクチャを使用することで、コストを削減し、ダウンタイムを短縮し、コストのかかる構成エラーを制限することができます。

このコースに参加すると、Red Hat Ansible Automation for Networking を使って Ansible Playbook を作成して起動し、ネットワーク・インフラストラクチャ内のルーター、スイッチ、およびその他のデバイスを管理できるようになります。Ansible
を使用していくつかの一般的なユースケースを自動化する経験ができるだけでなく、Red Hat Ansible Automation がサポートするさまざまなネットワーク・ハードウェア・ベンダーのデバイス向けに Playbook を作成する方法について基礎知識を得ることができます。

アウトライン

Ansible のデプロイ
Ansible をインストールし、Ansible インベントリーを設定します。

コマンドとプレイの実行
アドホックコマンドを実行し、Ansible Playbook を準備します。

Ansible のパラメーター化
ループと条件でタスクをコントロールします。

Ansible の管理
Ansible Vault で情報を保護し、高度なインベントリーを管理します。

シンプルなネットワーク操作の自動化
Ansible でネットワーク情報を収集し、ネットワークデバイスを設定します。

複雑な操作の自動化
新しい MACD の課題を解決し、実世代の課題を克服します。